

〔二五五〕 此の地方に據りし回鶻に関する記事は、此の後五代・宋・遼・金の各史に見え、甘州回鶻の名稱の外、沙州回鶻、瓜州回鶻、秦州回鶻（唐書地理志に見ゆる隴右の秦州に據りし回鶻なり）、合羅川回鶻（賀蘭山下に據りしものにして四族に分れ居りしこと宋史回鶻傳に見ゆ）、等の名見え、元代には撒里畏兀兒（*Tarikh-i-Rashidi. Sarikh uigur*）明代に安定衛と稱せられたる回鶻も亦此等の諸部と關係を有するものなるべし、今も肅州に近き地方に *Sarigh Uigur* の住めることは、露西亞の *Maloff* 氏が記し、又 *Mannenheim* 氏も記する所なり。

* *Maloff, Suvarnaprabhāsa* の序文第一頁。

** *Mannenheim, A Visit to the Sarö Yögur and Shero Yögur, Jour. de la Société finno-ougrienne XXVII, p. 72.*

〔二五六〕 僕固は回鶻九姓の一なる僕固部の人なりしより、名の上に冠したるものなるべきは甚だ明にして、彼の僕固懷恩の場合に於るが如し。

（附録一） 唐代の回鶻君長治世年表

（各可汗の徽號は諸書に載するもの及び保義可汗の紀功碑に記さるゝものを比較して、最も正しきものを採り、其の誤れるものをも併記して、如何に誤謬を有するもの多きかを知るの便に供せり）

一、特健俟斤

武徳年間？

（新唐書は時健俟斤と記す）